

群馬県 グループホームみずきの家 地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	独自の理念を持って日々取り組んでいる。住み慣れた地域での生活の中でひとりひとりの個性や願いを大切にその人を支えていけるよう努めている	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	日々の介護に活かせるようミーティングや申し送り等、折に触れ確認し意識づけを行っている	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	地域での会合やイベントに参加しその都度ホームを知ってもらい理解を深めてもらえるような働きかけを行っている。ご家族には訪問時等に伝えていくようにしている	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	回覧板や自治会費集金等に、ご近所の方が立ち寄ってくれる機会がふえており、散歩等で挨拶を交わしたり話をする機会も多くなっている	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の敬老会や夏祭り等催し物や会合等に参加したり、自治会に参加し古紙回収の地域活動も行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の会合等関わりの中で認知症ケアの啓発に努めるよう心がけている。人材育成として実習生の受け入れを行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果は運営推進会議や施設会議等で報告意見交換や協力等お願いしている。改善点への取り組みも問題意識を常に持って考えていけるようミーティング等でも折に触れ話し合いを行っている	○	施設内の会議やミーティングの回数をふやし今後も活発な意見交換や協力が得られるよう内容の充実も図っていききたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、行事や利用者の近況・評価の報告等を行い、サービスの向上を図っている	○	会議の場でも出た意見を参考に、ご家族や会議メンバーの方たちも参加したクリスマス会を実施、利用者と一緒に時間を過ごして頂けるよう計画たてる。又メンバーの方の元消防士だった方より非難等のアドバイスをもらい訓練に生かしている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	前橋市との情報交換等支援頂いている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要と思われる方は現在はいないが、今後必要になった時には、いつでも対応できる体制ができている	○	制度について学びを深めていく
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待はあってはならない事とスタッフ全員が認識しており、職員間で常に話し合いを持っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に基づいて十分な説明を行い同意を得ている。又、利用者の状況変化による契約解除の際も十分な説明と話し合いを行った上で対応している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中での利用者同士の会話や職員に伝えてくる言葉や態度から思いを察する努力をしており、又意見や願いを出しやすい環境作りを心がけている	○ 利用者からの要望や苦情等あった時には、掲示板にて報告し話し合っている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来居時の報告や状態変化時での連絡はきめ細かく出来るよう対応している。	2ヶ月毎のホーム便りでの報告や金銭管理についても個々に対応し出納帳を確認して頂いている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の場を有効活用できるように考えている。サービス向上につなげられるような率直な意見や要望等が出やすい会議の進め方等に配慮している	○ クリスマス会等家族参加の行事を開催。参加者同士や職員との話し合いの場を設け活発な意見が出る様、積極的に働きかけを行っていく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設会議の場や職員会議の中での意見や提案等、話し合いの場を設けている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	レクや行事等でのスタッフ調整等	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みのスタッフによる安定した支援を心がけている。夜勤が2フロア1人体制の為に必要に応じてユニットの職員がその中でのローテーションで入れ替わる事はある	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム連絡協議会等外部研修には順次参加。その他、法人内研修や勉強会等、多くの職員が参加出来る様な体制をとっている	研修等参加後は報告書を作成し参加出来なかった職員も周知出来るよう発表の場を設けている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	前橋市で行う市内グループホーム全体の勉強会や、グループホーム連絡協議会で行う研修等に参加している	○ 他グループホームで1日滞在し研修を行う(レベルアップ研修)等の取り組みしているが、19年度は相互の調整がつかず行えなかった
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のグループ活動あり、連帯感を深めストレスの発散にもなっている	○ 懇親会・旅行等
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	定期的に管理者、職員の実績・勤務状況をチェックしている。年2回の職員の懇親会も行っている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談はご本人よりも家族からの電話や来訪が多く、結果本人の困り事や不安よりも家族の主張を聴いている	利用開始後に本人が困っている事、不安な事を聴く機会を多くとり、早い時期に良い信頼関係がつかれるよう努めている。法人内からの入居希望者は相談員やケアマネから事前の情報提供がある
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時又は後日に家族に来居して頂き、より細部に亘っての聴きとりや相談を受けている	家族に来訪していただき(出来れば本人と一緒に)ホーム内を案内し、実際の生活をみていただきながらお話をうかがっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時の状況に応じて可能な限り柔軟な対応ができるよう努めている。母体病院や老健施設・居宅支援事業所などとの連絡体制あり必要に応じた対応ができるよう相談やアドバイスしている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に見学してもらい十分な説明と納得を得てから入居して頂けるよう配慮している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支えあって生活していこうという考えで常に接し、教え教えられ、励ましの言葉を頂く場面も多い		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子や変化等、きめ細かく伝えるようにしており、家族の思いにも寄り添えるよう努めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来訪の回数を増やし本人の様子を理解していただき、同じ時間が共有出来るよう支援している	○	よい関係が保たれている家族は、外出・外泊・来訪などは継続していただいている、又、積極的ではない家族には来訪回数を増やしてもらえよう行事等の参加などを呼びかけている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の催し物に出かけ知人に会えたと喜ぶ姿を見たり、知人が遊びに来てくれたりする事もあり、それらの事を大切にしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の個性を理解し共に支えあって生活していけるようにと、役割活動の分担やコミュニケーションの場を多く持つよう努め和やかな時間が過ごせるよう努力している。場合によっては個別に話を聴き利用者同士の関係がうまくいくよう支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された方のうち母体病院や老健施設へ移られた方については、退居後も会いに行く等交流は持っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活でのかかわりやコミュニケーションの中から希望や意向を把握できる事もある。言葉や態度から思いを察する努力や家族からの情報をもらいながら把握に努めている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報提供と、なにげない会話の中から少しずつ情報を引き出せるよう努めており、家族にも来居時に折りに触れ話を聴くようにしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ひとりひとりの生活リズムを理解し援助していく中で情報を共有しながら把握に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	自分らしく安心して生活ができるよう心がけて介護計画を作成しており、本人の意向を汲み取る努力や家族の要望スタッフの気づき、意見等話し合っている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化時には検討見直しを行い、ニーズに合わせた対応ができるようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人のこばや状態変化時等は個人記録に記載し情報共有できるよう対応。情報共有の中で見直しが必要かどうかの検討をしている	○	食事量・水分量・排泄のチェック表を個人記録とは別に用意し、いつでもすぐに確認できるようにしている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じてできる限り柔軟に対応している。医療連携体制を活かして状態に応じての往診や点滴処置、他病院への通院介助等		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	生活保護受給者がいる為、福祉事務所職員と協力しながら支援。民生委員の方には運営推進会議のメンバーになって頂いている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居している方については理美容や歯科サービス等の支援しているが、通所者等はいない為現在は利用していない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	要支援者の該当ない為、現在は行っていない。今後必要に応じて対応していく		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の状況及び家族等の希望により家族同伴で受診している		受診介護などでかかりつけ医と話し合いや、指示を受け、適切な対応が出来るよう努めている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	内諾書を作成し個別的な対応を行っている
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で誘導時の声かけや対応等に配慮して行っている。又、ミーティング等で折に触れ話し合い意識向上に努めている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の関わりの中で行動を促す前に必ずその方に応じた声かけを行い(する・しない・行く・行かない等)些細な事でも本人が決める場面を作っている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりとした時間の中でその人のペースで本人の気持ちを尊重しながらの支援を心がけ、個別に対応している	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	特定の理容院、美容院を利用したいという希望者は現在いないが、専属理容師の定期来訪があり利用者の希望に添って実施している	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や配膳、片付け等、その方のできる事をしてもらえるよう配慮している。畑の野菜と一緒に採って調理し食卓をにぎやかす事もあり楽しめる工夫をしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの嗜好物は把握しており本人の希望に応じて楽しめるよう支援している	○ コーヒーの好きな方数名いるが、自分で作って飲める方や本人の様子を見ながらの支援等力量に応じて対応している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	チェック表記入し排泄パターンの把握に努め、さりげなくトイレ誘導を行っている		できる限りトイレでの排泄が可能になるよう、行動のサインにも気づけるよう情報交換を行いながら支援している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3～4回の入浴日の中で希望に応じて入浴できるように支援している		気の合う人と一緒に入浴するのを楽しみにしている方や、1人でゆっくり入りたい人、熱めの湯が好きな方等に合わせた対応している
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動量や夜間の就眠状態の観察を行いその方のペースに合わせた生活を支援している		日中の活動や関わりをふやす事で、夜間の安眠につながる事も多い
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味に合わせて、役割分担し意識を高め、毎日の生活を楽しんでいただいている		蚕の飼育は毎年行っておりエサやりやフンの片付け等役割意識を持って行っている、漬物や種いもから育てたコンニャク作り等経験や知恵を発揮する場面を作っている
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理できる人・ホームで管理している人等、力量に応じた対応している。必要な物を自分で考え買物ができる事で安心感が得られている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には散歩や外気浴等屋外に出て気分転換できるように支援している。希望に合わせての買い物やドライブ等に出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者・職員と共に、リンゴ狩りやお花見、外食等に出かけている。又、家族と共に墓参りやドライブに出かけている利用者もいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話や、本人からかける等、気がねなく利用できるよう日常的に支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に訪問時間は定めておらずいつでも気軽に来て頂けるよう配慮しており、遠方のご家族には泊る事も可能な事を伝えていている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	申し送り時や話し合いの中で共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○	更に認識を深められるよう事業所内外の勉強会等に積極的に参加していく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関の鍵はかけておらず出入りは自由。外に出たがり落ち着かない時は一緒に付き添い散歩するだけで気分転換できています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はホール内又事務室周辺にて職員がそれぞれ利用者に関わり状況把握や情報交換を行ない、さりげなく見守りをしている。夜間は1人対応		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者によっては洗剤や刃物の保管場所を知っており、それらを自分で使う事が出来る為見守っている。針使用後は本数を確認する等、出したままにせず元の場所に戻す事の徹底図っている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットの記録や職員の気づき等は、その都度話し合いが行われ、ひとりひとりの予測される危険性等について検討し事故防止に努めるようにしている。事故が発生した場合には原因を探り、今後の予防等に付いて検討再発防止に努めている	○	事故防止マニュアルを作成し職員に周知させている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	法人での勉強会等に参加し応急手当を学んでいる。又ホーム内でのミーティングで話し合いを行っている	○	緊急時マニュアルの作成、法人との連絡体制の確立
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は年2回実施、日中や夜間等の想定で避難誘導等の訓練を行っている。運営推進会議にて自治会長にも協力をお願いしている	○	今後、地震等災害時のマニュアルを作成
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族には起こり得るリスクについての説明や対応策についての説明を行い理解と協力を頂いている		
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日検温や体調観察行っており少しの変化にも気づいていけるよう努めている。職員間で情報共有し看護師に相談したり必要に応じて受診の対応している		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から薬の説明を受けており、処方箋でも確認できるようにしている。服薬は1人ひとり手渡し飲み込みを確認している。処方変更時や状態変化みられる時の様子観察の強化や記録等に注意して対応している		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの状態に応じて対応している。繊維質の多い食材や乳製品は毎日採り入れており、散歩等適度な運動の支援で自然排便できるよう働きかけているが、必要に応じて医師と相談の上下剤での調整をしている方もいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけすればできる人、誘導や介助が必要な人等職員は把握しており毎食後その方の力量に応じた支援を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	母体病院の栄養士の献立で対応。食事量・水分量のチェックを毎食行い摂取量把握に努めている	食事制限のある人への対応や、食材の刻み方に工夫を必要とする人等その方に応じて支援している
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	感染症のマニュアル作成、予防に努めている。早期発見・早期対応できるよう職員間で話し合っている	
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	母体病院栄養課より毎日新鮮な食材の提供あり、まな板・ふきん、調理用具等は毎日漂白し清潔を心がけている	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	玄関まわりが明るい雰囲気になるよう配慮しており、季節の草花や植物等で工夫している。庭には季節の草花が咲きテーブルやベンチ等でくつろげる工夫している	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ホールには季節ごとの草花を生けたり飾りつけ等で、季節を感じ楽しめるよう工夫しており、畳敷のスペースには掘りごたつがある	浴室の窓はくもりガラスを使用し外から見えないよう配慮している
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	廊下の壁面に写真コーナーがあり折に触れ楽しめるようにしている。ソファをおき1人になれる場所も確保、畳敷のスペースも有効活用されている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にお花を飾って楽しむ人やテーブルデッキを持ち込み1人の時間を楽しむ人等、利用者の好みや生活スタイルに合わせて対応している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	フロアや居室等の換気や温度調節は常に気を配りこまめに調節を心がけている。又利用者に応じての温度、湿度等の調節にも注意を払っている。トイレは換気扇と消臭剤で悪臭が出ない工夫をしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー設計であり、要所に手すりが設置されています。居室のトイレは車椅子対応が可能	○	利用者の機能低下に合わせ浴槽への出入りや浴室内の移動が安全に行われるよう設備やキャスターつきシャワーチェア等をとりいれ改善。車椅子使用の利用者がとりやすいように歯ブラシ等を置く位置に配慮している
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や不安の原因を探りながら状況に合わせて環境整備に努めている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭にテーブルやベンチを置きいつでも外に出られるようにしており、お茶を飲んだり、おしゃべりして過ごす事もある。四季折々の草花や畑のスペースも確保し日常的に楽しめるよう工夫している		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 蚕の飼育や、野菜作り等、毎年ホーム全体で取り組んでいる。畑で収穫した野菜等で、手作りのおやつを作り、季節感を味わっています。一連の作業を通して、入居者様の力が発揮できるよう努めており、成長や収穫の喜びと一緒に体験し、共有しあう事を大切にしている。
- ホームの周りは田園地帯で木々も多く散歩道にもなっていて四季折々の風情を感じてもらえる環境です。
- 病院併設の施設である為、緊急時等の対応がスムーズで安心、と共に食事の面でも栄養士の献立によりバランスの良い食事になっている。